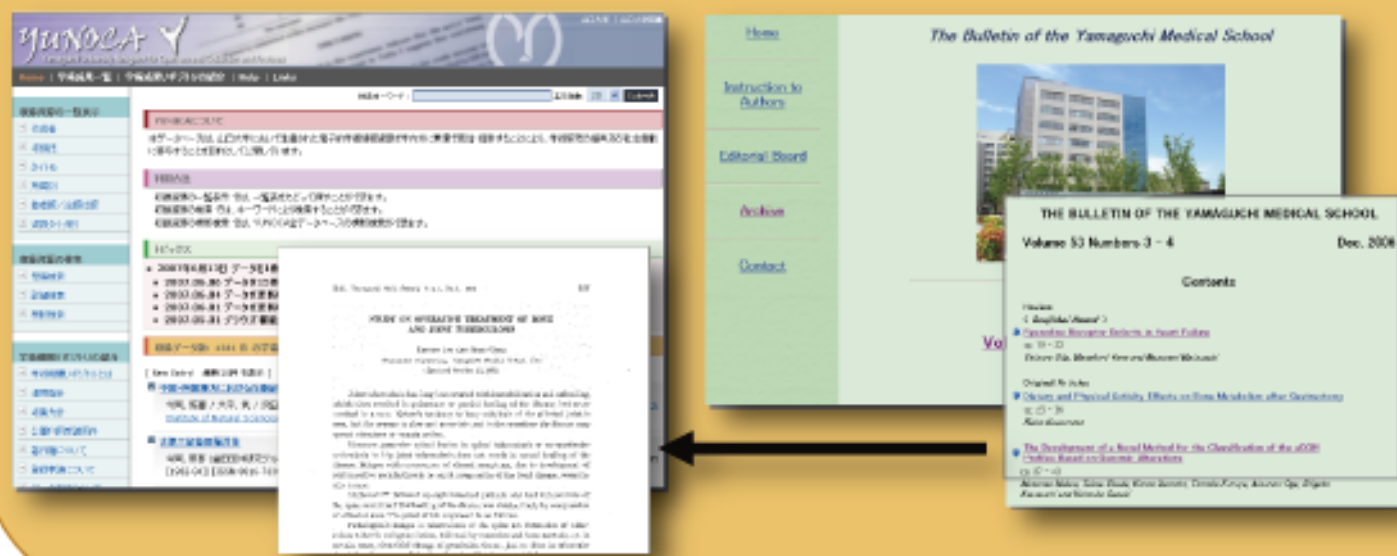




山口大学学術機関リポジトリ

電子発信からシステム連携へ

YUNOCAでは、医学部が発行している『The Bulletin of Yamaguchi Medical School』の原文を登録しています。目次等の情報を発行元のホームページに持ち、他システムとの連携は、YUNOCAを介して行う予定にしておき、今後の教員DB(仮称)との連携にむけた調整を行っています。



流通経路の拡大

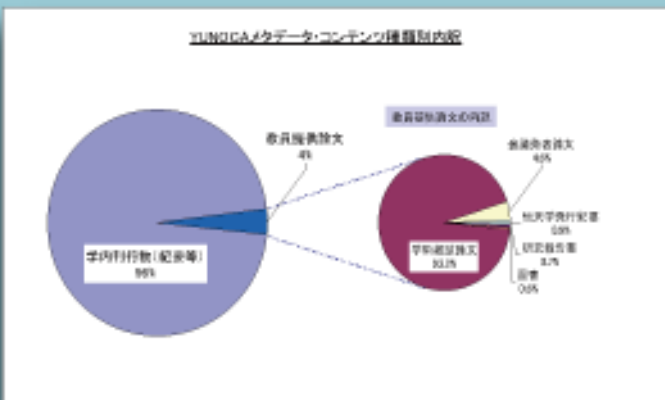
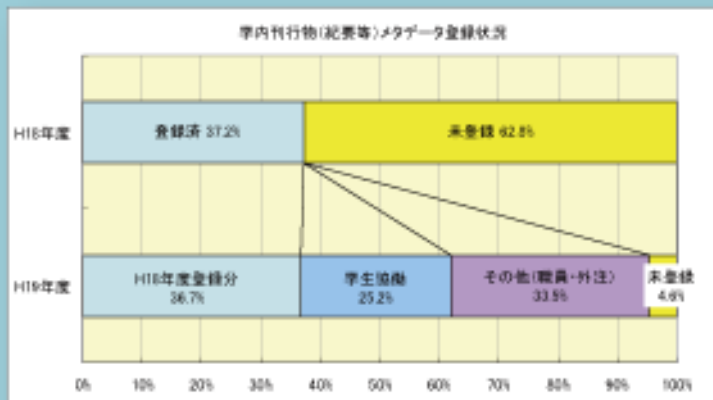
従来のメタデータフォーマットjuniiをjunii2へ変更し、国立情報学研究所(以下、「NII」という。)で試験公開されているJunii+から検索可能となりました。また、リポジトリ・ディレクトリへの登録やOAI-PMHデータプロバイダとしての登録などを経て、流通経路の拡大を図りました。一般の検索サイトからもアクセスしやすいように、トップページのリニューアルを行いました。さらに、海外から閲覧要求に対しても対応するため、英語版への切り替えも容易にしました。



学内紀要等のメタデータ入力約9割完了

現在発行元に確認可能な山口大学の学内刊行物(紀要等)のうち、約95%のメタデータ作成が完了しました。(原文公開済みは約30%) 昨年度未登録分が全体の約63%ありましたが、学生協働などにより、新たな生産分を含めて、未登録分が約5%になりました。

今後は、新たな生産分を着実に蓄積できるよう、また、原文未公開論文については原文公開が可能となるよう活動していきたいと考えています。そして、その活動を継続し、収集した学術資産を未来へつなげていきたいと考えています。

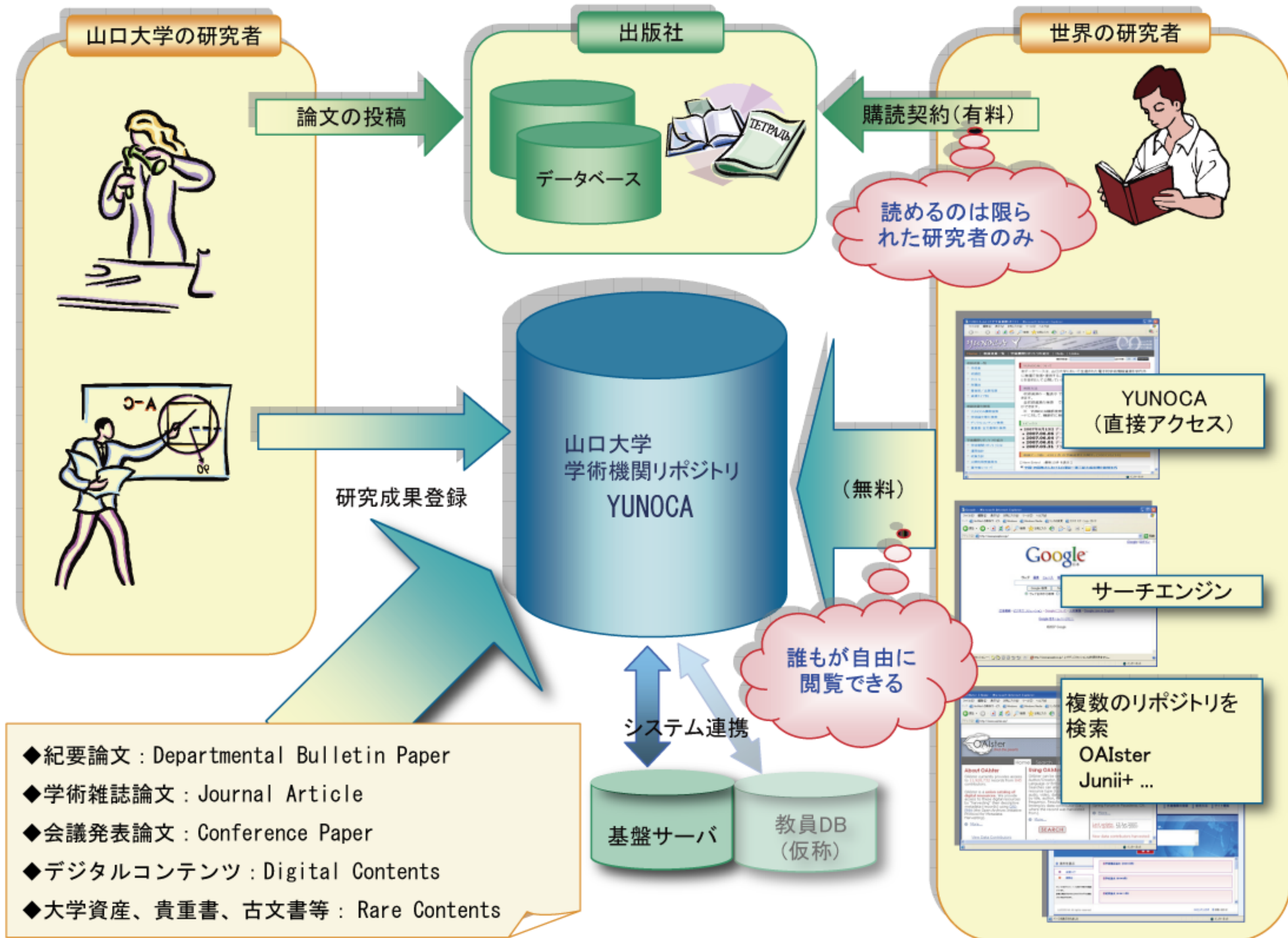


公開記念セレモニー

平成19年10月16日に、学長をはじめ副学長・部長らを引き、山口大学学術機関リポジトリ(YUNOCA)公開記念セレモニーを開催しました。本セレモニーにおいて、学長より「学術情報の発信はますます重要になるので、大学の事業として発展させてほしい」との祝辞とともに、学長自著論文もいただきました。これを機に、企画戦略プロジェクトにおいても、収集強化のための方策が検討され、登録申請の廃止とガイドラインの見直し、登録の簡略化が実施されました。



概念図



広報活動

- ◇平成19年10月 YUNOCA公開記念セレモニー
- ◇平成19年12月 人文学部教員会議
- ◇平成20年1月 医学系研究科会議
- 医学部保健学科会議
- 医学部助講教員会議
- 工学部教員会議
- 理学部教員会議
- 大学院技術経営研究科教員会議
- 農学部教員会議

YUNOCAパワーアップ大作戦
 ~山口大学の情報発信拠点をめざして~
 平成20年1月28日 於: 医学部 医学

海外での動きは・・・
 国立衛生研究所 (National Institute of Health=NIH)
 PubMedにて無料公開の義務化法案成立
 国内にも派生する可能性

No.	論文タイトル	閲覧数
1	Thymic atrophy in T cell production and structural and functional recovery after thymectomy in mice	1
2	Effects of timing of water bathing on sleep in young healthy subjects	1
3	Advancement of Pulmonary Functional Index of Healthy Subjects: Maximum Breathing (MB) and Central Tendency	1
4	Case of Infectious Mononucleosis in a 10-year-old boy with atypical lymphocytes (EBV+ IgM antibody positive)	1
5	多発性骨髄質性肉腫の診断と治療	1
6	Effects of timing of water bathing on sleep in young healthy subjects	1
7	肺動脈圧の連続的測定と呼吸機能の改善	1
8	山口大学学術機関リポジトリ(YUNOCA)の構築と運用	1
9	山口大学学術機関リポジトリ(YUNOCA)の構築と運用	1
10	Equilibrium and Characterization of a New Super Absorbent Copolymer Gel	1

医学部の論文の閲覧需要は高い!

成果

YUNOCAコンテンツ収録数

- ◇論文メタデータ: 10,134件
- ◇原文(論文): 3,781件
- ◇その他のコンテンツ: 177件

継続的な論文提供と提供数が

増加傾向にあることが最大の成果!

